

582 中央大学経済学会

〔『法学新報』第30巻2 (338)号 大正9年2月1日〕

○中央大学経済学会 同会にては懸賞討論会を十二月十三日午後七時より第五号教室に於て開会せるか当夜は氷雨蕭蕭として到り寒氣身に徹したるにも拘はらず演者七人に及び斯学に熱心

なる我学生諸氏の来り会する者多数を算し近来になき盛況を見

たり定刻桑田会長の臨席あるや先づ倉橋甚一君開会を宣し直ち

に桑田博士出題に係る「住宅問題」に付て討論に入れは先づ一

年級松井君登壇し最も新しき大正七年末の人口、家屋の統計に

拠り東京市の住宅問題を論じて降壇す二年級東君は之に代り我

国の住宅問題に対する幾多の欠陥を指摘し徹底的施設の講究を

絶叫し続て二年級柴田君は本問題に対する一般的の觀察を為し

我国の問題に及び緊急諸種の施設を為せと要求す次て二年級小

菅君は専ら我国の問題に付て対策の具体案を詳論し就中貧民窟

の改善を力説降壇す次て三年級松尾君は沿革より立論し人的、

物的の両方面の解決策より進んで都市計画に及び一時間余に亘

りて細論すれば時移りて十時を過ぎ寒氣愈烈しく再会の議を生

したるも本学期も余日なきこととて続行に決す頓て三年級横山

君登壇都市人口集中の原因、結果を細述して住宅問題の緊切な

るを痛論し更に我国の問題に移り諸種の企画を高唱して降壇す

れは三年級倉橋君之に次き問題の沿革より發生の原因を辿り解

決方法として行政上より都市、資本家、慈善団体の事業より之

を觀察し宅地の供給の潤沢を計れと論結す続て三年級尾上君は

悠然登壇し覇氣に富める語句を以て君独特の研究に係る建築物

の最低階数、屋上利用の制限、住宅地一人宛利用坪数の決定、

都市交通機關の整備、地下通路、高架通路の開設、空中路の利

用に付て詳論し拍手裡に降壇す時に十一時二十分にして刻益々

進みたるを以て桑田博士の審査発表は之を延期するの已むなき

其審査の結果は左の如し（委員報）

一等 二年級 小菅豊次郎君 三等 二年級 柴田 武君

二等 三年級 松尾 精藏君 三等 三年級 横山 貞輔君